

研究実施に関する情報公開

琉球大学医学部附属病院産婦人科では、人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。この研究では、患者さんのカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。 研究対象者となる患者さんは研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはございません。

研究課題名 ：本邦における若年子宮体がん妊孕性温存治療についての調査研究
研究期間 ：倫理審査委員会承認後～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日
対象とするもの ：患者さんの診療記録情報（カルテ）
目的 ：子宮体がんの標準治療は手術による子宮摘出ですが、妊娠を強く望む若い女性で子宮内膜に限局していると思われる高分化型類内膜癌、および子宮内膜異型増殖症においては、子宮を切除せず、黄体ホルモンによる子宮温存治療も行われる場合があります。 しかし、本邦での治療の実態についての詳細は不明です。そこで、今回、治療の効果やその後の妊娠についてなど、多くの情報を診療録（カルテ）から調べます。 全国規模のかつてない多数例の情報の集積、検証により、治療の質の担保と安全な普及について提言することを目的にしています。この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。 また、研究の成果は学会発表や論文として公開されますし、参加施設および日本産婦人科学会のホームページでもみることができます。
研究の対象となる患者さん ：西暦 2009 年 1 月 1 日より 2013 年 12 月 31 日までの間に子宮体がんに対し妊孕性温存治療を受けた患者さんが対象となります。日本全国の対象となる基幹病院で調査を実施します。研究の対象となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、当科までご連絡ください。
方法 ：対象となる患者さんの診療録（カルテ）より、初回治療の情報、診断、その後の妊娠、再発の有無などを調査し集計します。
プライバシーの保護について ：本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切分からない形で集計します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。
お問い合わせ ：本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記の研究事務局へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、当科までご連絡をお願いします。

【当院の研究責任者】

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科 教授

青木 陽一

Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426

【研究代表者】

久留米大学産婦人科 教授

牛嶋 公生

Tel:0942-31-7573 Fax:0942-35-0238

【日本産科婦人科学会事務局】

TEL:03-5524-6900 FAX:03-5524-6911

Email:nissanfu@jsog.or.jp